

全国から選りすぐりの逸品を展開 卸売業のノウハウを生かす食品専門店

株式会社インパクトワン
代表取締役

飯川 寿朗氏

今年3月、イオンモール宮崎（宮崎市）にオープンしたインパクトワンプラスは、本業の卸売業で取引のある約2000社から選りすぐりの商品をセレクトし、味や素材、安心・安全にこだわった逸品を全国から集めた食品専門店。卸売業のノウハウを生かした魅力ある品揃えで、集客力アップを目指す同店を取材した。

地方の特色ある商品を中心に 1300アイテムを展開

全国各地の銘菓をはじめ、厳選した素材を使った調味料やお茶、ジャムなどの嗜好品、珍しい輸入食品など、約1300アイテムにおよぶ商品が約50坪の売場に並び、いずれもおいしさや製法などにこだわった逸品ばかり。運営するのは、熊本県玉名市に本社を置く食品卸売業者の株式会社インパクトワンだ。

同社は代表取締役の飯川寿朗氏が2015年に創業。百貨店、スーパーマーケット、食品専門店など約250店舗に、全国各地の約2000社のメーカーから仕入れた、こだわりの商品を販売してきた。インパクトワンプラスイオン

モール宮崎店は、2017年10月に熊本県荒尾市にオープンしたあおシテイモール店に続く小売店の第2号店だ。

飯川氏は、「全国には規模は小さくても、よい商品をつくっている企業がたくさんあります。前職の食品卸売会社で小売店を立ち上げた経験に基づき、そうした地方の特色あるメーカーの商品を直接消費者の皆さんにお届けする場をつくりたいと思い、出店しました。地方で頑張っている小さなメーカーを応援できる店舗でありたいと考えています」と語る。

卸売部門を事業の柱に据える同社にとって、小売店はアンテナショップの役割も担っている。飯川氏は「新規取引先と商談する際は、「こんな商品の取り扱いもあり

ます」と店舗を見てもらうと話が早い。小売店でよく売れる商品を、卸売部門でも力を入れて売り込むなど、互いの相乗効果にも期待しています」と話す。

鮮度感の演出と目新しさで お客様が飽きない店づくり

展開する商品は、瓶詰や缶詰、レトルト食品など、保存の効くドラッグストアが中心だが、冷蔵・冷凍ケースを設置し、漬物などの日配品や餃子などの冷凍食品も販売している。

「グロスリーだけでは売場に鮮度感が出ないので、賞味期限の短い日配品や加工肉などをなるべく多く品揃えするようにしています。漬物などは食べておしいければ、また買いに来てくださいます。来店頻



▲入口付近の平台に全国各地の銘菓をダイナミックに展開、お客様を店の奥に引き込む



▲スーパーマーケットでは展開が稀な調味料など、地方の銘品・逸品が並び



▲長崎県香岐市の土井製菓がつくる餅入りのカステラ菓子「加寿まき」。商品開発から携わり、売れ筋商品の一つに育った



▲鶏の飼育方法や鮮度、栄養価などにこだわった卵。価格は通常品の倍以上だが、入荷する先から売れていく

度を高め、リピーターになっていく。大切に考えています（飯川氏）
同店では商品の味を知ってもらうため、試食販売に力を入れている。店内数ヶ所に試食用の商品を用意しているほか、スタッフが店頭立ち、お客様に重点商品をおすすめする。また、プライスカードにはその商品の産地とこだわりポイントが明記され、選ぶ際の目安になっている。

「商品はできるだけ頻繁に入れ替えるようにしています。とくに平たいで展開する商品に目新しさがないと、お客様にすぐに飽きられてしまいます。卸売をやっているメリットとして、その時々売れている商品がわかるので、そうした商品は欠かさず店舗に置くようにしています」（飯川氏）

知名度と集客力アップに注力 九州中心に店舗網拡大を目指す

同店では開店に合わせて自動釣銭機付POSレジ「QT-200」を2台導入。スピーディで正確な会計処理に威力を発揮している。本社事務所には昨年8月に店舗のPOSレジと連動した本部システムを導入しており、今後はその活用も目指していく。

「先日、初めて当店の売上分析を行い、意外な商品がよく売れていることがわかり、定期的な販売データ分析の重要性を改めて認識しました。在庫管理や販売戦略の立案など、POSデータを様々な場面で活用することを考えていきたいと思っています」（飯川氏）



▲プライスカードに産地の県名と商品の特徴を明記。写真はPBのトリュフ塩



▲同店で売れ行きナンバーワンを誇る「黄金のだし」（右）と、PBのレギュラーコーヒー（左）は試飲用を用意



インパクトワンプラス イオンモール宮崎店

会社概要
会社名 株式会社インパクトワン
設立 2015年11月
代表者 飯川 寿朗
事業内容 食品卸売業、小売店の経営
本社所在地 熊本県玉名市岩崎74-1 徳永ビル2F
店舗所在地 宮崎県宮崎市新別府町江口862-1
イオンモール宮崎1階
ホームページ <http://impact-one.co.jp>



▲POSレジは自動釣銭機付の「QT-200」を導入。「釣銭の渡し間違いない」とスタッフにも好評だ

▶積極的に試食販売を行い、お客様にイチオン商品をおすすする

